

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患） （TxAD : Treatment of Active Disease）

（2022年10月26日～2023年1月30日）

コース責任者：（主）八重柏隆、佐々木大輔、宮本郁也、工藤義之、野田守
 講座（分野）担当者：歯科保存学講座（う蝕治療学分野）野田守、工藤義之
 ：歯科保存学講座（歯周療法学分野）八重柏隆、佐々木大輔
 ：口腔顎顔面再建講座（口腔外科学分野）宮本郁也

第3学年 後期	講義	実習	
	（保存修復学）	42時間	48時間
	（歯内治療学）	36時間	36時間
	（歯周病学）	39時間	30時間
	（口腔外科学）	15時間	12時間
	コースまとめ(コア歯学)	12時間	0時間
	計	144時間	126時間

学修方針（講義概要等）

口腔治療学（硬組織、歯髄、歯周組織疾患）（Treatment of Active Disease）では、口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織の各疾患の科学と病態、診査・診断・治療方法を講義・実習で段階的に把握する。

教育成果（アウトカム）（講義・実習）

齲蝕の科学、病態（診査・診断）、接着、修復材料、齲蝕の治療、続いて歯内疾患の診査・診断・治療の講義・実習で修復・歯内領域を修得し、それから歯周病の病態と治療、診査・診断から歯周外科実習に至る講義・実習で歯周領域を、次に抜歯に関する診査・診断・治療の講義・実習で関連領域を修得する。最後に総合的知識のまとめとして各領域のコア歯学関連項目の演習により各自の知識を再確認・補習する。4年次に向け総合的に修得することで、初診から高頻度歯科臨床の流れとして臨床で求められる口腔治療学を、効果的に集中して学習することができる。履修内容に関するフィードバックは掲示・ウェブクラス等で周知する。

（ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 9）

事前学習内容及び事前学習時間（各回最低 30 分以上）

事前学習（予習）は、シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低 30 分以上を要する。適宜、講義冒頭で事前学習内容の発表時間を設ける。

講義・実習日程

【講義：矢巾キャンパス 西 1-G 講義室、実習：矢巾キャンパス 西 3-E 実習室】

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月26日 (水)	八重柏隆教授 (歯周療法学)	TxAD コースガイダンス	1. 口腔治療の対象となる硬組織、歯髄、歯周組織の各疾患の病態、診査・診断・治療方法を総合的に説明できる。
1限		TxAD で修得すべき事を理解する。	[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版 2-3p、臨床歯周病学 3版序章 15-31p を読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月26日 (水) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	Cariology 1 病理・組織学的特徴 エナメル質齲蝕、象牙 質齲蝕、セメント質齲 蝕について説明できる ようになる。	1. 歯の構造と機能、加齢に伴う変化を説明できる。 2. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕の発症機序、病態、進行について病理学的に説明できる。 [E-3-1)-④、E-3-1)-⑤、E-3-2)-①] 事前学習: 保存修復学第4章V, VI, VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
10月26日 (水) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	Cariology 2 MID (Minimal Intervention Dentistry)、齲蝕除去の理論について説明できるようになる。	1. 齲蝕歯質において残すべき歯質について説明できる。 2. 急性齲蝕と慢性齲蝕における感染歯質除去理論の違いを説明できる。 3. 齲蝕の検査法について説明できる。 4. エナメル質齲蝕の処置法を説明できる。 5. 象牙質齲蝕の処置法を説明できる。 6. 高齢者における根面う蝕を説明できる。 7. MID (Minimal Intervention) について説明できる。 [E-3-3)-(1)-①、E-3-3)-(1)-②] 事前学習: 保存修復学第4章V, VI, VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
10月26日 (水) 4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	修復総論 各種処置法 保存修復学の意義を理解し、各種修復方法について説明できるようになる。	1. 保存修復学の意義、手順、特徴を説明できる。 2. 修復材料、修復法の変遷を理解できる。 3. 接着性修復と非接着性修復を説明できる。 4. 修復物の具備すべき条件を説明できる。 [D-2-①、D-1-②、E-3-3)-(1)-③] 事前学習: 保存修復学第1章I, IIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
10月27日 (木) 1、2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	齲蝕以外の硬組織疾患とその治療 歯の構造と歯に生じる疾患の概要について説明できるようになる。	1. 非齲蝕性硬組織疾患を説明できる。 2. 変色歯を説明できる。 3. 象牙質視覚過敏症を説明できる。 [E-3-2)-⑤、E-3-3)-(1)-③] 事前学習: 保存修復学第1章I, IIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
10月27日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	罹患歯質除去 ラバーダム防湿① ラバーダム防湿下で人工歯の齲蝕歯質を除去ができるようになる。	1. 1歯のラバーダム防湿を行うことができる。 2. ラバーダム防湿下で人工歯を用いて齲蝕歯質を適切に除去できる。 [F-1-2)-①②、F-3-1)、F-3-3)-①、G-3-④] 事前学習: WebClassにアップした第1回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月28日 (金) 1限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	窩洞の原則 窩洞形態に関する諸条件について説明できるようになる。窩洞の名称、分類について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 2. 窩洞外形を説明できる。 3. 予防拡大を説明できる。 4. 保持形態できる。 5. 抵抗形態を説明できる。 6. 便宜形態を説明できる。 7. 窩縁形態を説明できる。 8. 窩洞の清掃について説明できる。 9. メタルインレー窩洞をデザインできる。 10. 材料と窩洞形態の特徴を説明できる。 11. 窩洞の形態に関する諸条件を説明できる。 12. Black の窩洞の分類を説明できる。 13. 窩洞の名称を説明できる。 <p>[E-3-3)-(1)-⑥] 事前学習: 保存修復学第4章V, VI, VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>
10月28日 (金) 2限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	修復の補助法 修復の補助法について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯間分離について説明できる。 2. 歯肉圧排について説明できる。 3. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 4. 隔壁の目的、種類、および特徴を説明できる。 5. クサビの目的、種類、および特徴を説明できる。 6. ガムリトラクターの目的、特徴を説明できる。 7. リテーナーについて目的、種類、および特徴を説明できる。 8. 防湿法についての歯科治療について説明できるようになる。 9. 除痛法について説明できる。 <p>[E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①] 事前学習: 第4章VIIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>
10月28日 (金) 3限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	硬組織切削、感染予防 硬組織切削の手技、器具を説明できるようになる。歯科治療時の感染予防策を説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 硬組織の切削法を列挙できる。 2. 手用切削器具を説明できる。 3. 回転切削器械を説明できる。 4. バーポイントを説明できる。 5. 歯科用レーザーについて説明できる。 6. 音波、超音波切削について説明できる。 7. 科学的溶解について説明できる。 8. 感染予防策について説明できる。 <p>[G-1-2)-①、E-3-3)-(1)-①] 事前学習: 第4章VII、第5章IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月28日 (金) 4限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	象牙質・歯髄複合体の保護 象牙質・歯髄複合体について説明できるようになる。 アマルガム修復とその除去について説明できるようになる。	1. 象牙質・歯髄複体の保護の目的を説明できる。 2. 歯髄障害の要因について説明できる。 3. 象牙質・歯髄保護法について説明できる。 4. アマルガム修復の変遷について説明できる。 5. アマルガム修復と水銀について説明できる。 6. アマルガム修復の撤去、除去について説明できる。 [E-3-3)-(1)-①] 事前学習: 第4章VII、第5章IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
10月31日 (月) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	ラバーダム防湿② シミュレーターで多数歯のラバーダム防湿を行うことができるようになる。	1. 多数歯のラバーダム防湿を行うことができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③⑥、F-3-3)-①] 事前学習: WebClass にアップした第2回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
10月31日 (月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	V級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎前歯にV級コンポジットレジン修復を行うことができるようになる。	1. 上顎前歯にV級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. V級コンポジットレジン充填を行うことができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-①] 事前学習: WebClass にアップした第2回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
11月1日 (火) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	接着・CR修復 PBL形式 歯質接着とコンポジットレジンの組成、特徴について説明できるようになる。	1. エナメル質、象牙質それぞれの接着について説明できる。 3. ハイブリッド層(樹脂含侵層)について説明できる。 4. 各種接着システムのメカニズムの違いについて説明できる。 5. 各種プライマーについて説明できる。 6. MMA系レジンの組成と特徴を説明できる。 7. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの組成と特徴、および重合様式を説明できる。 14. 可視光線照射器(ハロゲン照射器、LED照射器)について説明できる。 15. 材料の化学的構造を理解し図示できる。 16. 重合深度・重合収縮について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②③④⑧] 事前学習: 医歯薬出版保存修復学第5章I、IIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月1日 (火) 3限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復1 コンポジットレジンの組成と特徴について説明できるようになる。	1. MMA系レジンの組成と特徴を説明できる。 2. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの組成と特徴を説明できる。 3. 化学重合型および光重合型コンポジットレジンの重合様式を説明できる。 4. 可視光線照射器（ハロゲン照射器、LED照射器）について説明できる。 5. 材料の化学的構造を理解し図示できる。 6. 修復用コンポジットレジン进行分类できる。 7. フィラーについて説明できる。 8. コンポジットレジンの問題点と対処法について説明できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るようにまとめる。 [E-3-3)-(1)-②③⑧] 事前学習：保存修復学第5章Ⅰ、Ⅱを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月1日 (火) 4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	コンポジットレジン 修復2 コンポジットレジンの術式、適応症、既往症について説明できるようになる。	1. コンポジットレジン修復の術式を説明できる。 2. コンポジットレジン修復の適応症を説明できる。 3. コンポジットレジン修復の禁忌症を説明できる。 4. トンネル修復について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②③] 事前学習：医歯薬出版保存修復学 第5章1、2を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月2日 (水) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	Ⅲ、Ⅳ級コンポジット レジン修復 シミュレーターで上顎前歯にⅢ、Ⅳ級コンポジットレジン修復を行うことができるようになる。	1. 上顎前歯にⅢ、Ⅳ級コンポジットレジン充填を行うことができる。 2. 欠損部の解剖学的形態を回復することができる。 3. 間接覆髄を行うことができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-(①②)] 事前学習：WebClass にアップした第3回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月9日 (水) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	鑄造修復1 鑄造修復法における印象採得からワックスアップまでできるようになる。	1. 鑄造修復の診療室および技工操作の流れを説明できる。 2. 印象法について説明できる。 3. 咬合採得について説明できる。 4. 仮封の目的、種類、および特徴を説明できる。 5. 作業模型の種類と取扱法を説明できる。 6. ワックスパターン形成法について説明できる。(溶融圧接法、軟化圧接法) [D-2-②、E-3-3)-(1)-③] 事前学習：歯科理工学の関連領域、保存修復学第6章IVを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月9日 (水) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	鑄造修復2 鑄造修復法における埋没から技工室での調整法までの過程を説明できるようになる。 メタルインレー修復について説明できるようになる。	1. 埋没について説明できる。 2. 鑄造について説明できる。 3. 技工室での調整法について説明できる。 4. 研磨について説明できる。 5. 鑄造欠陥について説明できる。 6. 鑄造修復物の口腔内での調整法について説明できる。 7. 鑄造修復物の装着法について説明できる。 8. メタルインレー修復後の不快事項について説明できる。 [D-2-②、E-3-3)-(1)-③] 事前学習：歯科理工学の関連領域、保存修復学第6章IV, VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月9日 (水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	V級ガラスイオノマー修復 シミュレーターで上下顎前歯にガラスイオノマー修復を行うことができるようになる。	1. III、V級窩洞にガラスイオノマーセメントを充填することができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-①] 事前学習：WebClass にアップした第4回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
11月10日 (木) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	メタルインレー メタルインレー修復について説明できるようになる。	1. メタルインレーの長所、短所が説明できる。 2. メタルインレーの使用金属が説明できる。 3. メタルインレー窩洞の形成理論を説明できる。 4. メタルインレーの各種窩洞形態が説明できる。 5. メタルインレー修復後の不快事項について説明できる。(脱離、体部破折、ガルバニー電流) [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：第6章IV, VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月10日 (木) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	歯科用セメント 歯科用セメントの基礎的物性の評価法について説明できるようになる。	1. セメントの種類、特徴および用途を説明できる。 2. セメントのJIS規格を説明できる。 3. リン酸亜鉛セメントの特徴を説明できる。 4. ポリカルボキシレートセメントの特徴を説明できる。 5. EBAセメントの特徴を説明できる。 6. レジン系セメントの特徴を説明できる。 7. その他の歯科用セメントを分類できる。 8. 合着用セメントの歯髄刺激を説明できる。 [E-3-3)-(1)-③⑦] 事前学習：保存修復学第6章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月10日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	セメント修復1 グラスアイオノマーセメント PBL形式 修復用グラスアイオノマーセメントについて説明できるようになる。 グラスアイオノマーセメント修復の臨床について説明できるようになる。	1. 従来型、レジン添加型グラスアイオノマーセメントの硬化機序を説明できる。 2. 酒石酸について説明できる。 3. 感水、離水について説明できる。 4. グラスアイオノマーセメントの利点、欠点について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメントの歯質との接着について説明できる。 6. グラスアイオノマーセメントと他セメントとの比較ができる。 7. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 8. グラスアイオノマーセメントの適応症、禁忌症について説明できる。 9. グラスアイオノマーセメント修復とコンポジットレジン修復の違いを説明できる。 10. 抗う蝕作用について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②③] 事前学習：保存修復学第5章Ⅲを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月11日 (金) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級コンポジットレジン修復 シミュレーターで上顎小白歯のⅡ級コンポジットレジン修復ができるようになる。	1. 上顎小白歯にⅡ級コンポジットレジン窩洞を形成することができる。 2. 天然歯の色調にあったコンポジットレジンを選択することができる。 3. Ⅱ級コンポジットレジン修復に必要な隔壁を装着することができる。 [F-3-1)、F-3-3)-①] 事前学習：WebClassにアップした第5回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月14日 (月) 1限	清水峻介助教 (う蝕治療学)	レジンインレー修復 1 MI とレジンインレー 修復の特徴と術式に ついて説明できるよ うになる。	1. レジンインレー修復の術式、特徴を説明できる。 2. レジンインレーの窩洞形成について説明できる。 3. クレビスについて説明できる。 4. コンポジットレジン修復とレジンインレー 修復について比較、説明できる。 5. レジンコーティング法について説明でき る。 6. レジンセメントの種類を列挙できる。 7. レジンセメントの特徴を説明できる。 8. レジンセメントの用途を説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：保存修復学 第6章を読み、疑問点 を抽出しておく。また事前に提示されたキーワ ードについて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。
11月14日 (月) 2限	清水峻介助教 (う蝕治療学)	先進歯科医療 歯科用レーザー、セ ラミックインレー CAD/CAM, について説 明できるようにな る。	1. 歯科用レーザーの種類、特徴、用途を説明できる。 2. セラミックインレーについて説明できる。 3. CAD/CAM について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②③] 事前学習：保存修復学第4章、第6章を読んで到 達目標についてまとめておく。
11月14日 (月) 3限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の保 存修復 術後管理 保存修復における高 齢者の特徴と有病者 の修復法について説 明できるようにな る。修復治療の術後 管理について説明で きるようになる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の齶蝕について説明できる。 3. 高齢者の修復法について説明できる。 4. 有病者の修復法について説明できる。 5. 切削時の有病者への配慮を説明できる。 6. 在宅医療における歯科治療について説明できる。 7. 補修修復について説明できる。 8. 修復治療後のメンテナンスについて説明でき る。 [E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①③、E-5-1)-⑤] 事前学習：第1章、第5章を読み、疑問点を抽出 しておく。また事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習 しておく。
11月14日 (月) 4限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	変色歯、着色歯、歯の 漂白 変色歯、着色歯、歯の 漂白の特徴と術式に ついて説明できるよ うになる。	1. 変色歯の原因と分類を説明できる。 2. 歯の漂白法の特徴を説明できる 3. ホームブリーチについて説明できる。 4. オフィスブリーチについて説明できる。 5. ラミネートベニア修復について説明できる。 [E-3-3)-(2)-⑥] 事前学習：保存修復学第4章を読み、疑問点を抽 出しておく。また事前に提示されたキーワードに ついて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予 習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月15日 (火) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	Ⅱ級メタルインレー 修復 シミュレーターで下顎 大臼歯にメタルインレ ー窩洞形成ができるよ うになる。	1. チャネルスライス型Ⅱ級メタルインレー窩洞 を形成できる。 2. ボックス型Ⅱ級メタルインレー窩洞を形成で きる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥、F-3-3)-(①] 事前学習：WebCl ass にアップした第 6 回実習書 ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
11月16日 (水) 1、2 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	修復臨床ケースから 学ぶ PBL 形式 提示された修復症例 に対して的確な診 断、治療法の選択、 治療に用いる器具を 用意できるようにな る。	1. 提示された症例に対して、的確な診査ができ る。 2. 提示された症例に対して的確な診断ができ る。 3. 患者背景も考した治療法を選択できる。 4. 治療に用いる器具を用意できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインター ネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出 来るように纏めておく。 [E-3-3)-(1)、F-3-7)] 事前学習：有病者に対する歯科治療についてイン ターネットなどで調べておく。
11月16日 (水) 3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	補修修復実習 Ⅰ級コンポジットレジ ン修復 補修修復を想定したシ ミュレーターでV級修 復ができるようにな る。 Ⅰ級コンポジットレジ ン修復ができるよう になる。	1. 補修修復を想定したシミュレーターのV級修 復ができる。 2. Ⅰ級コンポジットレジンの窩洞形成と修復が できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(1)-③④⑥] 事前学習：WebCl ass にアップした第 7 回実習書 ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
11月17日 (木) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	レジインインレー修復 セラミックインレー 修復 シミュレーターでレジ ンインレー、セラミッ クインレー窩洞形成を 行うことができるよ うになる。	1. レジンインレー窩洞を形成できる。 2. セラミックインレー窩洞を形成できる。 3. レジンコーティングを行うことができる。 [E-3-3)-(1)-⑥] 事前学習：WebCl ass にアップした第 8 回実習書 ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月18日 (金) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	修復学実習 間接修復 インレー印象採得 咬合採得 技工指示書の書き方 模型上でメタルイン レーの印象採得、咬 合採得、模型作製を 行うことができるよ うになる。 技工指示書を記入す ることができるよう になる。	1. 精密印象採得および対合歯の印象採得を行うことができる。 2. 咬合採得を行うことができる。 3. 模型材の種類と用途を理解したうえで、模型を作製することができる。 4. 技工指示書を記入することができる。 [F-3-3)-①、E-3-3)-(1)-⑦] 事前学習：WebCl ass にアップした第 9 回実習書ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
11月21日 (月) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	中間試験	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。
11月21日 (月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	実習試験 与えられた臨床課題をシミュレーターで実施できるようになる。	1. 与えられた課題を時間内に達成できる。 [F-3-1)、F-3-3)-①]
11月22日 (火) 1限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内療法学(概論) 歯内療法の定義、意義、目的について説明できるようになる。	1. 歯内療法学の目的を説明できる。 2. 硬組織を介した感染経路を説明できる。 3. 歯と歯根周囲の組織学を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第1章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月22日 (火) 2限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯・歯周組織の機能と構造 歯・歯周組織の機能と構造について説明できるようになる。象牙質・歯髄複合体について説明できるようになる。	1. 歯髄腔の組織・解剖学を説明できる。 2. 象牙質・歯髄複合体の生理学的機能、硬組織形態を説明できる。 3. 象牙質・歯髄複合体の感覚神経分布、歯髄の痛みに伴う頭頸部疼痛を説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の病態と治療を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第2、3章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月22日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内療法実習 根管治療に必要な各種材料の取扱い 根管治療 基本手技 根管拡大 根管洗浄 貼薬 仮封 根管治療に必要な各種材料を取り扱うことができるようになる。	1. ブローチ綿栓を巻くことができる。 2. 根管模型で根管拡大を行うことができる。 3. 適切な器具の操作を行うことができる。 4. 根管拡大の基準を説明できる。 5. 根管貼薬を行うことができる。 6. 根管洗浄、乾燥を行うことができる。 7. 仮封を行うことができる。 8. 根管治療に必要な器具を準備することができる。 9. 無菌的操作が実施できる。 [E-3-3)-(1)-⑦、F-3-1)-③、F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習：歯内療法第1回実習書、歯内治療学第4章-II 無菌的処置法を熟読し、根管治療における無菌的処置の重要性についてまとめておく。
11月24日 (木) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患の分類と病態 PBL形式 各種歯髄疾患の分類と病態について説明できるようになる。	1. 炎症の病態を説明できる 2. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。 3. 市髄腔における炎症性変化の特徴を説明できる。 4. 歯髄における加齢変化を説明できる。 5. 病名・病態の用語を理解し英語で表記できる。 6. 歯髄疾患の鑑別に用いられる検査を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第5章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月24日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	根尖性歯周組織疾患の分類と病態 PBL形式 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態について説明できる。	1. 根尖周囲の免疫機構について説明できる。 2. 急性根尖性歯周炎を分類し説明できる。 3. 各種根尖性歯周組織疾患の分類と病態を説明できる。 4. 病名・病態の用語を理解して英語で表記できる 5. 根尖性歯周疾患の鑑別に用いられる検査を説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第6章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月25日 (金) 1限	清水峻介助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患の病因・診査 各種歯髄疾患の病因と診査方法について説明できるようになる。	1. 歯髄疾患の原因について説明できる。 2. 歯髄疾患の分類と臨床症状について、歯髄保存の可否および病理所見に基づく臨床的分類が説明できる。 3. 歯髄疾患の診断に必要な検査を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学5章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月25日 (金) 2限	清水峻介助教 (う蝕治療学)	歯髄疾患まとめ 歯髄疾患およびその緊急処置について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯髄疾患の原因について説明できるようになる。 2. 歯髄疾患の分類と臨床症状について説明できるようになる。 3. 歯髄疾患の特徴と経過について説明できるようになる。 4. 歯髄疾患の診断について説明できるようになる。 5. 歯髄疾患の治療方針について説明できるようになる。 6. 歯髄疾患の治療法について説明できるようになる。 7. 急性歯髄炎の緊急処置について説明できるようになる。 <p>[E-3-3)-(2)-①③]</p> <p>事前学習: 歯内治療学第5章、第8章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>
11月25日 (金) 3限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	歯髄の保存療法、待機的診断 歯髄疾患の治療方針および歯髄保存療法について説明できるようになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種歯髄疾患の治療方針について説明できる。 2. 待機的診断法について説明できる。 3. 歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。 4. 間接覆髄法について説明できる。 5. 直接覆髄法について説明できる。 6. 暫間的間接覆髄法について説明できる。 7. 生活断髄法について説明できる。 <p>[E-3-3)-(2)]</p> <p>事前学習: 歯内治療学5章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>
11月25日 (金) 4限	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	根尖性歯周疾患まとめ 根尖性歯周疾患およびその緊急処置について説明できるようになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根尖性歯周疾患の原因について説明できるようになる。 2. 根尖性歯周疾患の分類と臨床症状について説明できるようになる。 3. 根尖性歯周疾患の特徴と経過について説明できるようになる。 4. 根尖性歯周疾患の診断について説明できるようになる。 5. 根尖性歯周疾患の治療方針について説明できるようになる。 6. 根尖性歯周疾患の治療法について説明できるようになる。 7. 急性根尖性歯周炎の緊急処置について説明できるようになる。 <p>[E-3-3)-(2)-①②④]</p> <p>事前学習: 歯内治療学第6章、第8章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月28日 (月) 1限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	抜髄・感染根管治療 の基本術式－髓腔開 拡－ 抜髄・感染根管治療 の基本術式（除痛法、 髓腔開拡）について 説明できるようになる。	1. 除痛法について説明できる。 2. 髓腔開拡の要件について説明できる。 3. 歯種ごとの髓腔開拡の外形について説明できる。 4. 麻酔抜髄、感染根管治療に使用する器具を列挙できる。 5. 髓腔開拡の術式について説明できる。 6. 根管上部の形成について説明できる。 7. 根管長測定法と作業長の決定方法が説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯内治療学第7章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月28日 (月) 2限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	抜髄・感染根管治療 の基本的術式－根管 拡大、根管清掃－ 種々の根管拡大法、 拡大補助法について 説明できるようになる。	1. 根管形成の意義を説明できる。 2. 手用根管切削器具を用いた根管形成について説明できる。 3. Ni-Ti 製ロータリーファイルを用いた根管形成について説明できる。 4. 根管の化学的清掃について、根管清掃剤の種類と使用方法について説明できる。 5. 根管貼薬剤の種類とその所要性質について説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習: 歯内治療学第7章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月28日 (月) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療 ① 髓腔開拡から根管口 明示 貼薬仮封まで シミュレーター実習 で根管拡大を治療手 技に沿ってできるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎前歯の髓腔開拡を行うことができる。 3. 作業長を決定することができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習: 歯内療法第2回実習書、歯内治療学第5章、第6章を読み、直接抜髄法（麻酔抜髄法）を熟読し、抜髄の臨床的手順、抜髄の適応症と禁忌症についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
11月29日 (火) 1、2、3、4 限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療 ② 根管充填 シミュレーター実習 で上顎前歯の根管充 填を行うことができ るようになる。	1. 根管充填を行うことができる条件を説明できる。 2. マスターポイント試適を行うことができる。 3. シーラーを練和できる。 4. 根管充填を行うことができる 5. 根管治療の術式を説明できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-②] 事前学習: 歯内療法第3回実習書、歯内治療学第8章を熟読し、側方加圧充填法の臨床的手順、使用器具についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月30日 (水) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	抜髄・感染根管治療の基本術式－根管充填－ 根管充填の基本術式（側方加圧根管充填）について説明できるようになる。	1. 根管充填の目的を説明できる。 2. 根管充填が可能な条件を説明できる。 3. 側方加圧根管充填に使用する器具・薬剤を説明できる。 4. 側方加圧根管充填の術式について説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第8章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月30日 (水) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	抜髄・感染根管治療の基本術式（再根管治療、補助療法、根管充填の予後） 再根管治療の基本術式、根管治療の補助療法、根管充填の予後について説明できるようになる。	1. 根管治療経過不良の原因を説明できる 2. 再根管治療の選択基準を説明できる 3. 治療方針の選択と治療術式を説明できる 4. 再根管治療時の注意点を説明できる 5. 根管治療の補助療法を説明できる 6. 根管充填後の治癒経過について説明できる 7. 根管充填後の予後の判定基準と時期について説明できる [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学7章VI、VII、VIII、第8章VIIを読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
11月30日 (水) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	上顎前歯の根管治療③ 再根管治療 シミュレーター実習で再根管治療ができるようになる。	1. 充填されている根管充填材を除去することができる。 2. 再根管治療が必要な病態を説明できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-④、F-3-3)-③] 事前学習：歯内療法第4回実習書、歯内治療学第5章を熟読し、感染根管の成因、病原性についてまとめておく。
12月2日 (金) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療① 上顎小臼歯 髓腔開拓 根管口明示 根管拡大 シミュレーターで上顎小臼歯の根管治療ができるようになる。	根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎小臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 3. 作業長を決定することができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる [F-1-2-①②、F-3-3)-③、F-2-2)-⑦] 事前学習：歯内療法第2回、第5回実習書、歯内治療学第7章を熟読し髓室開拓の注意点についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月2日 (金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療②下 顎小臼歯 急性期の対応 J-開放療法 Wei zer 仮封 シミュレーターで開 放療法を実施できる ようになる。 下顎小臼歯の根管治 療ができるようになる。	1. 急性症状を有する歯への対応を説明できる。 2. 開放療法を実施できる。 3. 通気性仮封を実施できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-④、F-3-3)-③] 事前学習：歯内療法第5回実習書、歯内治療学第 6章のうち急性根尖性歯周炎に関する項目を熟読 し、急性化膿性根尖性歯周炎の臨床症状による分 類についてまとめておく。
12月5日 (月) 1限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	根未完成歯の歯内療 法 根未完成歯・外傷歯 の歯内療法の基本術 式について説明でき ようになる	1. 根未完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキソグネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第10章を読み、疑問点を 抽出しておく。また事前に提示されたキーワード について教科書とその他の参考書を含めて調べ、 予習しておく。
12月5日 (月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	外傷歯の歯内療法 根未完成歯・外傷歯 の歯内療法の基本術 式について説明でき ようになる。	1. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 2. 内部吸収について説明できる。 3. 外部吸収について説明できる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第12章を読み、疑問点を 抽出しておく。また事前に提示されたキーワード について教科書とその他の参考書を含めて調べ、 予習しておく。
12月5日 (月) 3限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	外科的歯内療法 実体顕微鏡を応用し た歯内治療 外科的歯内療法の術 式・適応症、実体顕 微鏡について説明でき ようになる	1. 外科的歯内療法の術式・適応症を説明できる。 2. 外科的歯内療法に用いる器具を用意できる。 3. 実体顕微鏡の構造、機能を説明できる。 4. 実体顕微鏡による検査、適応症を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第13、14章を読み、疑 問点を抽出しておく。また事前に提示されたキー ワードについて教科書とその他の参考書を含め て調べ、予習しておく。
12月5日 (月) 4限	志賀華絵講師 (う蝕治療学)	高齢者・有病者の歯 内療法 保存修復における高 齢者の特徴と有病者 の修復法について説 明できるようにな る。 歯内・歯周疾患につ いて説明できるよう になる。	1. 高齢者の心身における特徴を説明できる。 2. 全身疾患とはない治療について説明できる。 3. 高齢者・有病者と健常者の歯内療法の違いを 説明できる。 4. 高齢者の歯内療法について説明できる。 5. 歯内疾患と歯周疾患の関連性を説明できる。 6. 歯内-歯周疾患の分類と臨床症状を説明できる。 7. 歯内-歯周疾患の診断と治療を説明できる。 [E-3-2)-①、E-3-3)-(1)-①③、E-5-1)-⑤] 事前学習：第1章、第5章を読み、疑問点を抽出し ておく。また事前に提示されたキーワードにつ いて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習し ておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月6日 (火) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	根管処置後の歯冠修復 根管処置後の歯冠修復について説明できるようになる。	1. コロナルリーケージについて説明できる。 2. 根管充填歯に支台築造を行い際の注意点を説明できる。 3. 鋳造金属、成形材料による支台築造について説明できる。 [E-3-3)-(2)-(②)、E-3-4)-(1)-(③)] 事前学習：第18章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
12月6日 (火) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内治療における安全対策 歯内治療における偶発症について説明できる。	1. 歯内療法における偶発症を説明できる。 2. 偶発症への対処法を説明できる。 3. 有病者における歯内処置で配慮すべき点を説明できる。 [E-3-2)、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内治療学第19章を読み、疑問点を抽出しておく。また事前に提示されたキーワードについて教科書とその他の参考書を含めて調べ、予習しておく。
12月6日 (火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内臨床ケースから学ぶ PBL形式 提示された歯内症例に対する的確な診断、治療法の選択、治療に用いる器具を容易できるようになる。	1. 提示された症例に対して、的確な診査ができる。 2. 提示された症例に対して、的確な診断ができる。 3. 患者背景を考慮した治療法を選択できる。 4. 治療に用いる器具を用意できる。 与えられたテーマおよび問題に対してインターネットなどを利用して、情報収集を行い、発表出来るように纏めておく。 [E-3-3)-(2)、F-3-7)] 事前学習：有病者の歯科治療との関連についてインターネットなどで調べておく。
12月7日 (水) 1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療③上顎大臼歯 下顎大臼歯 髓腔開拓 根管口明示 根管拡大 シミュレーター実習で大臼歯の根管治療ができるようになる。	1. 根管治療の術式を説明できる。 2. 上顎大臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 3. 下顎大臼歯の髓腔開拓を行うことができる。 4. 作業長で根管拡大を行うことができる。 5. 根管洗浄、乾燥、貼薬仮封を行うことができる。 [F-1-2-①②、F-3-3)-(③)、F-2-2)-(⑦)] 事前学習：歯内療法第2回、第5回、第6回実習書、歯内治療学第7章を熟読し髓室開拓の注意点についてまとめておく。実習内容の理解度確認のため小テストを実施する。
12月8日 (木) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	臼歯の根管治療④ 根管充填 シミュレーター実習で上下顎小白歯、上下顎大臼歯の髓腔開拓ができるようになる。	1. 上下顎小白歯の根管充填を行うことができる。 2. 上下顎大臼歯の根管充填を行うことができる。 3. ラバーダム防湿下で臼歯の根管拡大を行うことができる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-(②)] 事前学習：歯内療法第3回、第7回実習書、歯内治療学第8章を熟読し、側方加圧充填法の臨床的手順、使用器具についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月8日 (木) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	ニッケルチタンロータリーファイルを使用した根管治療 シミュレーターでニッケルチタンロータリーファイルでの根管拡大を実施できるようになる。	1. ニッケルチタンロータリーファイルの特徴を説明できる。 2. ニッケルチタンロータリーファイルで根管拡大を実施できる。 [F-1-2-①②、E-3-3)-(2)-②] 事前学習：歯内療法第7回実習、歯内治療学を熟読し、ニッケルチタンロータリーファイルの特徴についてまとめておく。
12月9日 (金) 1、2限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内療法学（中間試験）（筆記） 歯内療法学についての理解を問う。	1. 歯内療法学の基礎的問題ができる。 [E-3-1)、E-3-2)、E-3-3)-(2)]
12月9日 (金) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅 徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内療法学基礎実習（実技試験） シミュレーターにラバーダム防湿を規定時間内に装着できるようになる。	1. 規定時間内にラバーダム防湿を実施できる。 2. 規定時間内に髄腔開拓を実施できる。 3. 規定時間内に綿栓を巻くことができる。 4. 規定時間内にニッケルチタンロータリーファイルで根管拡大ができる。 [F-3-1)]
12月12日 (月) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の基礎知識、リスクファクター 歯周病の基礎知識とリスクファクターを理解できる。	1. 歯周病の基礎知識を説明できる。 2. 歯周病リスクファクターを説明できる。 3. コア歯学で修得必要な項目を説明できる。 [E-3-2)-③、E-3-2)-④、E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第1,2章 2-58p、臨床歯周病学3版第2-62pを読んでまとめておく。
12月12日 (月) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病の診査・診断 歯周病の診査・診断を理解できる。	1. 歯周病の診査・診断を説明できる。 2. 歯周病診査に必要な器具を列挙できる。 3. 歯周病の診断の臨床的意義を説明できる。 [E-3-3)-(3)-②] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第4章 84-104p、臨床歯周病学3版 63-85, 96-123pを読んでまとめておく。
12月12日 (月) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周基本治療（概要・咬合） 診査・診断、治療計画、歯周基本治療、咬合の基本を理解できる。	1. 歯周疾患の診査・診断、治療方針および治療計画の流れを説明できる。 2. 説明と同意の重要性を説明できる。 3. 治療計画立案の必要項目を列挙できる。 4. 咬合の基本事項について説明できる。 [E-3-3)-(3)-②] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章 106-110p, 115-131p、臨床歯周病学3版 78-85, 124-148pを読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月12日 (月) 4限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周基本治療（咬合調整・暫間固定他） 外傷性咬合と咬合調整・暫間固定を理解できる。	1. 外傷性咬合と咬合性外傷を説明できる。 2. 咬合性外傷の症状を説明できる。 3. ブラキシズムを説明できる。 4. 咬合調整を説明できる。 5. 暫間固定を説明できる。 [E-3-2)-(③)、E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章132-135p、臨床歯周病学3版78-85, 165-180pを読んでまとめておく。
12月13日 (火) 1限	石河太知講師 (分子微生物学)	歯周病の細菌学 歯周疾患と細菌（感染と免疫）について理解できる。	1. 口腔細菌、歯垢および歯石を説明できる。 2. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分子生物学的レベルで説明できる。 3. 歯周病における感染と免疫を説明できる。 [E-3-2)-(④)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第1章15-25p、臨床歯周病学3版32-49pを読んでまとめておく。
12月13日 (火) 2限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 応急処置、モチベーション、プラークコントロール他について理解できる。	1. 歯周疾患の急性症状の診断・応急処置について説明できる。 2. 歯周治療に必要なモチベーションについて説明できる。 3. 歯周治療に必要なブラッシング法の種類と特徴を列挙して説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章111-123p、臨床歯周病学3版127-164pを読んでまとめておく。
12月13日 (火) 3限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周基本治療 SRP、スケーラーおよび PMTC を理解できる。	1. 歯周治療に必要な SRP を説明できる。 2. 治療に用いるスケーラーを説明できる。 3. PMTC を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(③)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章124-131p、臨床歯周病学3版149-164pを読んで到達目標についてまとめておく。
12月13日 (火) 4限	村井 治助教 (歯周療法学)	診査と説明・指導 診査結果と病状説明、口腔清掃指導を理解できる。	1. 診査結果を説明できる。 2. 病状説明のポイントを説明できる。 3. プラークコントロール方法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー3版第5章113-123p、臨床歯周病学3版96-115, 138-148pを読んでまとめておく。
12月14日 (水) 1限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	根分岐部病変と歯内一歯周病変 根分岐部病変と歯内一歯周病変を理解できる。	1. 根分岐部病変の分類 (Glickman・Lindhe) を説明できる。 2. 歯根の保存・除去療法について説明できる。 3. 歯内-歯周疾患の成因と治療方法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③④)] 事前学習：ザ・ペリオドントロジー3版第5章136-138p、183-187p 臨床歯周病学3版245-256, 328-335pを読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月14日 (水) 2限	大川義人 非常勤講師 (歯周療法学)	高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応 高齢者の歯周病、予防管理、特発病変への対応を理解できる。	1. 高齢者の歯周病を説明できる。 2. 歯周病の予防管理を説明できる。 3. 特発病変への対応を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3,5,6,8章の該当箇所、臨床歯周病学3版356-364, 309-317pを読んでまとめておく。
12月14日 (水) 3限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周病の疫学 歯周病の疫学について理解できる。	1. 歯周病の疫学について説明できる。 2. 歯周病に影響する要因を説明できる。 3. 歯周疾患の分類について説明できる。 [E-3-2)-(3)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第7章の244-250p、臨床歯周病学3版86-95, 149-164pを読んで到達目標についてまとめておく。
12月14日 (水) 4限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	ペリオドンタルメディシン ペリオドンタルメディシンおよび高齢者(有病者)の歯周病・注意点を理解できる。	1. ペリオドンタルメディシン、歯周病と関係する疾患(糖尿病および循環器疾患等)との関連性を説明できる。 2. 高齢者(有病者)の歯周病の特徴と治療時の注意点を説明できる。 3. 全身疾患を有する者の歯周病治療について(症例で)説明できる。 [E-3-3)-(3)-①②③] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3章の60-82p、臨床歯周病学3版50-62, 356-364pを読んで到達目標についてまとめておく。
12月15日 (木) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周組織の診査・歯周疾患の説明 診査・歯周疾患の説明について理解できる。	1. 検査結果を用いて歯周病患者に対する歯周病の病状を適切に説明できる。 2. ブラッシング法の種類と特徴を列挙し説明できる。 3. 歯周組織の診査項目および必要な診査器具を列挙し、説明できる。 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 [F-2-2)-(4)、F-3-2)-(3)、F-3-3)-(4)]
12月15日 (木) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	SRP と PMTC(模型実習) SRP と PMTC を適切に実施できる。	1. SRP に用いる器具を選択できる。 2. 手用による SRP(ポジショニング含む)ができる。 3. 安全・感染予防の配慮ができる。 4. エアースケーラーを用いたスケーリングができる。 5. PMTC を模型で実施できる。 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 [F-1-2)-(1②)、F-3-3)-(5)]
12月16日 (金) 1限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科1(基本) 歯周外科の基本を理解できる。	1. 各歯周外科の適応(特に骨縁下ポケット症例)、歯周外科の基本、歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 2. フラップ手術の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周外科用器具と材料を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月16日 (金) 2限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科2 (再生療法他) 歯周組織再生療法を理解できる。	1. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 3. 歯周組織再生療法に用いる材料を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(④⑤)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版207-244pを読んでまとめておく。
12月16日 (金) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科3 (基本) 歯周ポケット搔爬術、新付着術、歯肉切除術を理解できる。	1. 骨縁上ポケットに適応する歯周外科手術を説明できる。 2. フラップ手術との違いを説明できる。 3. 組織付着療法、切除療法について説明できる。 [E-3-3)-(3)-(④⑤)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。
12月16日 (金) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周外科4 (歯周形成外科他) 歯周形成外科手術を理解できる。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(④⑤)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章145-174p、臨床歯周病学3版257-266pを読んでまとめておく。
12月19日 (月) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習① (切開、縫合、模型使用) 歯周外科の基本作業を実習できる。	1. 歯周外科の基本作業(各種切開方法他)を模型実習できる。 2. 縫合の種類を列挙し模型で縫合できる。 3. 模型で歯肉弁を作成しメス、持針器を扱うことができる。 [F-1-2)-(①②)、E-3-3)-(3)-(③④)] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
12月19日 (月) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科基本手技実習② (ヘミセクション) 歯周外科の基本術式を実習できる。	1. 歯根分割抜去術をマネキンに装着した模型上で実践できる。 2. 歯周外科基本作業(各種切開、縫合他)を模型上で実践できる。 3. 歯根分割抜去術を説明できる。 [F-1-2)-(①②)、E-3-3)-(3)-(③④)] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
12月20日 (火) 1限	佐々木大輔准教授 (歯周療法学)	歯周外科の要点および全身疾患を有する患者の治療(症例報告) 歯周外科の要点・歯周病治療症例を理解する。	1. 歯周外科の要点を説明できる。 2. 糖尿病等の全身疾患を有する患者に歯周治療を実施することにより実際に病状が改善することを症例から理解できる。 [E-3-3)-(3)-(①④)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第3章60-82p、第5章145-182p、臨床歯周病学3版181-266、345-364pを読んで到達目標についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月20日 (火) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学) 佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	口腔機能回復治療 (歯周・矯正他) 口腔機能回復治療を 理解できる。	1. 口腔機能回復治療について説明できる。 2. 歯周-矯正治療について説明できる。 3. 歯周疾患患者の歯周補綴(永久固定)・インプラント治療について説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章188-199p、臨床歯周病学3版267-308pを読んでまとめておく。
12月20日 (火) 3限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	抜歯の基準、再評価、 メンテナンス、SPT 抜歯の基準、再評価、 メンテナンス、SPT を理解する。	1. 抜歯の基準を説明できる。 2. 再評価の意義を説明できる。 3. 定期管理(メンテナンスとSPT)を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(②)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版第5章139-140p, 200-204p、臨床歯周病学3版96-115, 309-317pを読んでまとめておく。
12月20日 (火) 4限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	特殊な歯周病と薬物 療法、レーザー治療 特殊な歯周病と薬物 療法、レーザー治療 を理解する。	1. 特殊な歯周病(壊死性潰瘍性歯肉炎、薬物性歯肉増殖症、歯肉線維腫症、Down症候群、Papi II on-Lefevre症候群等)を説明できる。 2. 歯周領域の薬物療法(局所薬物配送システム他)を説明できる。 3. 歯周領域のレーザー治療を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(①②③)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版205-212p、第9章262-280p、臨床歯周病学3版318-327, 336-344p, 365-376pを読んでまとめておく。
12月21日 (水) 1、2、3、4 限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教 授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周外科の実際 (歯周外科実習: 豚 顎使用) (実習) 豚顎を使用して歯周 外科治療の基本を実 習できる。	1. 各種切開法を豚顎で実践できる。 2. 歯肉の全層弁での剥離・翻転を豚顎で実践できる。 3. 各種縫合法を豚顎で実践できる。 4. 歯根明示下でのSRPを豚顎で実践できる。 5. フラップ手術を豚顎で実践できる。 6. 歯周組織の生物学的幅径を説明できる。 7. SRPを豚顎で実践できる。 8. 各種歯周組織検査(ウォーキングプローブ、ボーンサウンディング)を豚顎で実践できる。 [F-1-2)-(①②)、E-3-3)-(3)-(③④)] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
12月22日 (木) 1限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周講義まとめ 歯周講義内容の要点 を理解する。	1. 歯周病学の要点を説明できる。 [E-3-3)-(3)-(①~⑤)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んで到達目標についてまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月22日 (木) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習 歯周領域の重要事項をDESSで演習する。	1. (過去の歯周国試必修・一般問題で問われている) 歯周領域重要事項を演習解答できる。 [E-3-3)-(3)-①~⑤、E-3-2)-(③④)] インターネットに接続可能なPC, タブレット等を持参すること。 事前学習: DESS お試し演習を設定しておくので事前に学習しておくこと。
12月22日 (木) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周演習解説 歯周演習の要点を理解する	1. 歯周領域の重要事項を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①~⑤、E-3-2)-(③④)] 事前学習: ザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んでまとめておく。
1月4日 (水) 1限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	歯周病患者のエックス線読影(実習) 歯周病患者のエックス線像を読影できる。	1. 歯周病患者のエックス線像の特徴・解決を要する問題点等を列挙して読影できる。 2. 咬合性外傷と根分岐部病変のエックス線像について説明できる。 3. 歯周病による骨吸収ラインを示して説明できる。 [E-3-3)-(3)-②③] 2. 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
1月4日 (水) 2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	咬合調整(実習) 模型で咬合調整ができる。	1. 咬合を診査して咬合干渉部、早期接触部を特定できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 適切な割合により咬合調整できる。 [E-3-3)-(3)-②③] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
1月4日 (水) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	咬合調整、暫間固定(実習) 暫間固定ができる。	1. 適切な割合により咬合調整できる。 2. A-splint ができる。 3. ダイレクトボンディング固定できる。 [E-3-3)-(3)-②③⑥] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。
1月5日 (木) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	筆記試験(中間試験)	これまでに学んだ要点を規定時間内に記述できる。
1月5日 (木) 3限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	中間試験の解説講義 中間試験内容について理解できる。	1. これまでに学んだ要点を規定時間内に説明できる。
1月5日 (木) 4限	村井 治助教 (歯周療法学)	歯周実習まとめ 歯周実習内容の要点を理解する。	1. 歯周領域の重要事項を説明できる。 2. 手用スクレーラーのシャープニング方法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-①~⑤、E-3-2)-(③④)] 1. 事前学習: 基礎実習に関連するザ・ペリオドントロジー3版全章、臨床歯周病学3版全編を読んでまとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月6日 (金) 1、2限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	実習試験(病状説明)	1. 歯周病の病状の説明を適切にできる。 2. ブラッシング方法の説明を適切にできる。 [F-2-2)-④、F-3-2)-③、F-3-3)-④]
1月6日 (金) 3、4限	八重柏隆教授 佐々木大輔准教授 村井 治助教 滝沢尚希助教 鈴木啓太助教 中里茉那美助教 (歯周療法学)	実習試験(SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニングに用いる器具を選択できる。 2. スケーリング・ルートプレーニングを適切に実施できる(適切なポジショニングを含む)。 3. 医療安全・感染予防に配慮したSRPが実施できる。 [F-1-2)-①②、F-3-3)-⑤]
1月10日 (火) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験 —口腔外科の医療面接と診察法— 解剖・生理学的知識を再確認することで、口腔外科領域の医療面接・診察法の意義を理解する。	1. 医療面接で収集すべき情報を説明できる。 2. 医療面接で留意すべきことを説明できる。 3. 診察法の種類を説明できる。 4. 視診・触診の項目を説明できる。 [E-1-1)-①～④、F-2-2)-①～③] 事前学習：咀嚼筋の種類や診察法について解剖学の教科書を復習しておく。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月10日 (火) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科学 小試験解説 一般歯科診療における口腔外科領域の医療面接・診察法を理解することで、適切な頭頸部診察技能を習得する。	1. 医療面接の重要性について説明できる。 2. 医療面接法について説明できる。 3. 医療面接でのコミュニケーションの重要性を説明できる。 4. 基本的な診察法の概略を説明できる。 [E-1-1)-①～④、F-2-2)-①～③] 事前学習：医療面接について、疑問点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月10日 (火) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 小川 淳准教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎講師 山谷元気講師 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	医療面接と口腔・頭頸部の診察(実習) 口腔外科における医療面接と口腔・顔面・頸部の診察に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 診察の環境を整えることができる。 2. 適切なコミュニケーションをとりながら診察することができる。 3. 患者に配慮した診察を実施できる。 4. 頭頸部の診察の手順を説明できる。 5. 口腔の診察を実施できる。 6. 頭頸部の診察を実施できる。 7. 診察結果をカルテに記載できる。 8. 診察結果を患者に説明できる。 [E-1-1)-①～④、F-2-2)-①～③]
1月11日 (水) 1限	山谷元気講師 (口腔外科学)	無菌処置 消毒法と無菌処置、術後の創処置について理	1. 口腔外科手術をおこなうための手指の消毒法を説明できる。 2. 口腔外科手術をおこなうための手術野の消毒法を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
		解し、清潔・不潔に配慮した診療を实践する知識と態度を習得する。	3. 術後における手術創の処置方法（創の洗浄、消毒）を説明できる。 4. 手術後感染について説明できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-⑥～⑧] 事前学習：消毒、滅菌、手指消毒法について疑問点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月11日 (水) 2限	山谷元気講師 (口腔外科学)	普通抜歯 普通抜歯を実施するために必要な知識を習得し、適切で安全な治療法を理解する。	1. 普通抜歯とはどのような抜歯なのかを説明できる。 2. 普通抜歯に必要な器具の使用法を説明できる。 3. 普通抜歯の手技を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤] 事前学習：抜歯に用いる器具について疑問点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月11日 (水) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 小川 淳准教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎講師 山谷元気講師 小野寺 慧助教授 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	手洗い 普通抜歯1(実習) 外科手術における手指の消毒に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 手術前の手洗いが適切に実施できる。 2. 普通抜歯に必要な器具を準備できる。 3. 普通抜歯に使用する器具の使い方を説明できる。 4. 抜歯鉗子の種類を区別できる。 5. 抜歯に必要な器具、材料を清潔操作で準備できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤]
1月12日 (木) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	難しい抜歯 —口腔外科手術の基礎、切開、剥離、止血、縫合— 難抜歯とその手技を理解する。その基本手技である切開、剥離、止血、縫合について理解する。また、手術に用いる器具と方法について理解する。適切で安全な治療技能を習得する。	1. 難しい抜歯とはどのような抜歯なのかを説明できる。 2. 切開方法について説明できる。 3. 剥離方法について説明できる。 4. 止血方法について列挙し、説明できる。 5. 縫合方法について列挙し、説明できる。 6. 縫合に必要な器材を説明できる。 7. 難しい抜歯の手術方法を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤] 事前学習：難しい抜歯、切開、剥離、止血、縫合法について疑問点、理解しにくい点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月12日 (木) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	抜歯の禁忌症 抜歯と全身疾患 抜歯と全身疾患とのかかわりを理解し、安全に治療が行える知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 2. 抜歯を行う際、注意を要する全身疾患を説明できる。 3. 抜歯をする際の全身疾患の管理方法が理解できる。 事前学習：抜歯の禁忌症について疑問点、理解しにくい点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩]
1月12日 (木) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 小川 淳准教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎講師 山谷元気講師 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	普通抜歯2 縫合・抜糸(実習) 普通抜歯に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。 縫合、抜糸に関する知識、技能、態度を習得し実践できる。	1. 抜歯操作を行う環境を整えることができる。 2. 抜歯操作が適切にできる。 3. 縫合、抜糸に必要な器具、材料を準備できる。 4. 手指縫合が実施できる。 5. 抜糸が適切にできる。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩]
1月16日 (月) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	抜歯窩の治癒 抜歯後の治癒過程を理解することで、適切な抜歯後の対応、対処ができる。	1. 抜歯の正常治癒経過を説明できる。 2. 抜歯の異常治癒過程とその対処法を説明できる。 3. 創傷治癒について臨床的事項と基礎医学的事項を整理して説明できる。 4. 抗菌薬の使用法について説明できる。 5. 鎮痛剤の使用法について説明できる。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩] 事前学習：抜歯の治癒異常について疑問点、理解しにくい点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月16日 (月) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	抜歯の偶発症 抜歯の偶発症を解剖学的知識と合わせて理解することで、偶発症や合併症に適切な対応ができる。	1. 抜歯の偶発症と合併症を説明できる。 2. 偶発症や合併症の対処方法を説明できる。 [E-1-5)-①～⑤⑨⑩] 事前学習：抜歯の偶発症5種類(気腫、脱臼、上顎洞瘻孔、神経損傷、誤飲・誤嚥)について疑問点、理解しにくい点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
1月17日 (火) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	筆記試験(中間試験)	1. これまでに学んだことを規定時間内に説明できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤、⑨⑩、F-2-2)-①～③]
1月17日 (火) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	中間試験の解説講義	1. 中間試験内容について理解できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月17日 (火) 3、4限	山田浩之教授 宮本郁也教授 小川 淳准教授 大橋祐生講師 川井 忠講師 古城慎太郎講師 山谷元気講師 小野寺 慧助教 角田直子助教 小松祐子助教 小原瑞貴助教 小泉浩二助教 (口腔外科学)	実習試験 (医療面接・診察・手 洗い・抜歯・縫合)	1. 頭頸部の診査、手洗い、器械の準備、抜歯、縫合を適切に実施できる。 [C-4-1)-③④、E-1-5)-①～⑤⑨⑩、 F-2-2)-①～③]
1月19日 (木) 1、2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	修復領域 (コア歯学 関連) 修復領域コア歯学関 連項目について理解 する。	1. 修復領域のコア歯学重要項目について説明できる。 事前学習:修復の内容について教科書、ノート、 資料、DESS で復習して臨むこと。
1月19日 (木) 3、4限	野田 守教授 (う蝕治療学)	歯内領域 (コア歯学 関連) 歯内領域コア歯学関 連項目について理解 する。	1. 歯内領域のコア歯学重要項目について説明できる。 事前学習:歯内の内容について教科書、ノート、 資料、DESS で復習して臨むこと。
1月20日 (金) 1、2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周領域 (コア歯学 関連) 歯周領域コア歯学関 連項目について理解 する。	1. 歯周領域の (過去の歯周国試必修・一般問 題・臨床実地問題で問われている) コア歯学 重要項目について説明できる。 2. 歯周領域の重要事項を DESS 演習で再確認す る。 [E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③] インターネットに接続可能なPC, タブレット等 を持参すること。 事前学習: DESS お試し演習を設定しておくので 事前に学習しておくこと。
1月20日 (金) 3、4限*	宮本郁也教授 (口腔外科学)	口腔外科領域の演 習・解説 口腔外科領域コア歯 学関連項目の演習・ 解説で理解すること で、次年度の学習に 備える。 *	1. 口腔外科領域のコア歯学重要項目を演習によ って理解できる。 [C-4-1)-③～④、E-1-5)-①～⑤、⑨⑩、 F-2-2)-①～③] インターネットに接続可能なPC, タブレット等 を持参すること。 事前学習: DESS お試し演習を設定しておくので 事前に学習しておくこと。
1月26日 (木) 1月30日 (月) 1、2、3、4限	予 備		

(* : コースアンケート実施)

コース最終試験

月 日	担当者		
1月23日 (月) 2、3限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (筆記：修復、歯内)	
1月24日 (火) 2、3限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (筆記：歯周、 口腔外科)	
1月25日 (水) 1、2、3、4限	(TxAD) ディレクター	コース最終試験 (口頭試問)	試験会場：矢巾キャンパス本部棟3階 SGL 教室1～5

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 6版	阿南壽ほか編	永末書店	2022年
教	保存修復学 7版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2019年
教	保存修復クリニカルガイド 2版	千田彰ほか編	医歯薬出版	2009年
参	接着性コンポジットレジン修復の基礎と臨床 (「日本歯科評論」特別号)	山田敏元ほか編	ヒョーロン・パブリッシャーズ	2007年
教	歯内治療学 5版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2018年
推	歯内療法失敗回避のためのポイント 47：なぜ痛がるのか、なぜ治らないのか	高橋慶壮 著	クインテッセンス出版	2008年
教	臨床歯周病学 3版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020年
教	ザ・ペリオドントロジー 3版	沼部幸博ほか編	永末書店	2019年
参	歯周病学用語集 3版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019年
推	失敗しない歯周外科：キュレタージから再生療法まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス出版	2007年
推	コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 原著第3版	E.S. コーエン 編、鴨井久一 監訳	西村書店	2009年
教	口腔外科学 4版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2020年
参	カラーアトラス サクシント口腔外科学 4版	内山健志ほか編	学建書院	2019年
参	イラストでみる口腔外科手術 第1-4巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス出版	2010年
推	口腔外科学 5版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016年
推	標準口腔外科学 4版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2015年
推	最新口腔外科学 第5版	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	2017年
推	口腔内科学 第1版	山根源之ほか編	永末書店	2016年

成績評価方法

講義（65点以上で合格）：中間筆記試験、コース最終筆記試験、口頭試問の総合評価。DESS 演習結果は講義成績に含む。

実習（65点以上で合格）：実習（態度、知識、技能）評価、中間実習試験、コース最終実習試験の総合評価
講義と実習が両者とも合格した場合のみ、本コース合格とする。

備考

本コースの実習：すべての実習に態度良好で出席すること、すべての提出物を提出すること、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

本実習では、実習に関する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）を評価する。

講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試は原則として各領域 65 点以上を合格とする。

特記事項・その他

アクティブ・ラーニングを実施するために、TxAD の各講義・実習ではグループワークを取り入れ、伝える力の強化を図るとともに、各講義・実習時間内に扱う各内容に関して担当教員とのディスカッションの機会を設ける。学生の理解度を必要に応じて講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して逐次確認する。講義資料は必要に応じて WebClass にアップロードする。

学生参加型講義を実施するために、各担当者は過去の国試問題をインターネット上の事前学習教材（DESS お試し演習）として演習前日までに設定する。各学生は事前学習教材を事前に予習した上で、各講義・演習および解説講義に臨むこと。各実施予定日には講義室でインターネットに必ず接続できるよう予め接続可能な PC、タブレット等を準備しておくこと。講義終了後は、事前学習済み教材を活用し事後学習を必ず行なうこと。

小テストや中間試験を分析してさらなる学習が必要な項目について、講義時間内あるいは掲示にてフィードバックを行う。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
外科録画システム・オペ録	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の録画、学生へのプレゼンテーション用
デジタルハイビジョン液晶モニター一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	症例の解説用
ノートパソコン・一式	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用
液晶ディスプレイ	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義プレゼンテーション用 症例提示用
液晶プロジェクター	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生への講義及びケースプレゼンテーション用
ボート型テーブル	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	学生指導及びケースプレゼンテーション用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン・レッツノートプレミアムエディション	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
拡大鏡・マイクロアジャスタブルTTLルーペⅡ 2.5倍	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ロクラク II Limitedスーパー・シルバー	ROKU2-LU-300G-SS	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
双眼ルーペ・フリップアップタイプ		1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
カラープリンター	LP-S7100R	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
汎用歯科用照明器・MiCDルーペライト一式	LL-LED	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
技工用エンジン・アルチメイトXL トルクセット	UMXL	1	基礎実習・臨床実習用機器	基礎実習時の指導用
ノートパソコン	UX31FRY356	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ノートパソコン	LB-X210S	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
デスクトップパソコン	Optiplex9010 ウルトラ	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
口腔内撮影用カメラ一式	EOS/X5他	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ミニコピア	DPC995	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ノートパソコン	FMVS76D	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
ノートパソコン・VAIO一式	VPCEH29FJ/W	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
デスクトップパソコン	I-Mac	1	基礎実習用機器	講義資料・スライドの作成
一眼レフデジタルカメラ	D3100	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影
ビデオカメラ一式	GZ-E265	1	視聴覚用機器	講義・実習のための映像撮影
デジタルカメラ	EOS M	1	視聴覚用機器	症例写真の撮影用
レーザープリンター	LP-S7100	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
ノートパソコン	PV83228HNMS	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
キャビトロンセレクト SPS	667-127	6	基礎実習専用機器	基礎実習におけるデモとして使用
ノートパソコン・dynabook	T75/RG PT75RGPHHA	1	視聴覚用機器	講義および症例プレゼンテーションに使用
ノートパソコン・MacBookPro	MGXA2JA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
デスクトップパソコン・iMac27 一式	Retina5K Z0QX Academic	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
ノートパソコン・dynabook 一式	PR73PBP-SHA	1	視聴覚用機器	実習、講義の資料提示用
27型液晶モニター	LCDRDT271XBP	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成・提示用

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートパソコンMacBook Air	MJVE2JA	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成・提示用
オープン保管庫	L5-G210EW4	3	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料保存
プレゼンテーションマウス	ELAMGU91	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
デスクトップパソコン・27インチ iMac Retina 5Kディスプレイ一式	ZOSC Academic	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン 一式	PC-NS150CA	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
ノートパソコン	CFSZ5HDKRP	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション
CEチェア RXタイプ	CE68RXP794	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
Macmini Corei5	MGEQ2JA(SSS)	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
一眼レフカメラ	EOS80D(SSS)	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
窓用エアコン	CWA1816	1	視聴覚用機器	講義、実習のプレゼンテーション作製
ノートパソコン MacBook Pro一式	Z0T5	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成、研究データ管理、プレゼンテーション資料作成、画像処理
ノートパソコン MacBook一式	1.3GHz	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用機器	講義・実習配布資料作成、研究データ管理、プレゼンテーション資料作成、画像処理
デスクトップパソコン ProDesk400一式	G4 SF/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成
ルートZX mini	201070390 RCM-7	5	基礎実習・研究用機器	根管長測定実習
アイススペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	視聴覚用機器	講義資料用症例記録
レーザープリンター	LBP651C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成
ノートパソコン	CF-LV8SDKJS	1	基礎実習・研究用機器	プレゼンテーション用
モバイルパソコン LAVIE Pro Mobile	PCPM750BAL	1	視聴覚用機器	講義・実習資料の作成・管理
ノートパソコン FMV LIFEBOOK	FMVN77E3G	1	視聴覚用機器	講義・実習資料の作成・管理
ノートパソコン Dynabook ノートシリーズ	P2C7PBBW	1	視聴覚用機器	講義・実習資料の作成・管理
乾熱滅菌器	KM-300V		基礎実習用機器	器具の滅菌